



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.462

Contents

A-Policy **重点事業方針**

・JAグループ高圧施設の電力コスト削減の取り組み

JA改革 中期事業計画（平成28～30年度） 自己改革の進捗状況について 2～4

A-Reports 5

- ・松本山雅FCホームゲームで「JA全農長野デー」開催 5
- ・県内大型ホテルで旬の果実をPR 5
- ・県域農機レンタル事業トラクター貸出レポート 6
- ・「食べる牛乳セミナー」開催 9

A-Board／

- ・信州の畜産酪農キャンペーン 9
- ・ぶっちょシャインマスカット 発売中 9
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・11月の動き 10
- ・11月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10

グループ会社紹介／

- ・株式会社ジェイエエオート長野 7～8

燃料・ホーム
エネルギー課

J Aグループ高圧施設の電力コスト削減の取り組み

平成28年4月に電力小売自由化がスタートし、また平成29年4月にはガス小売も自由化され、昨今のエネルギーを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

電力については平成12年より特別高圧、高圧電力と段階的に自由化されてきましたが、平成28年4月に家庭用を含む低圧電力の電力小売（市場規模約7兆円）が自由化されたことにより、需要家は電力会社と料金メニューを自由に選択できるようになりました。

家庭向けの低圧電力については、これまで各地域の電力会社（全国10社）が独占的に担っていました。平成29年6月時点で全国316事業者が電力事業に参入し、供給を開始しています。

現在のJ Aグループの取扱品目である石油・L Pガスに加えて電力についても組合員の営農・家庭用エネルギーとして取り扱うことを目指し、平成28年6月に石油・L Pガスの小売事業を展開している全農子会社（全農エネルギー（株）が小売電気事業者）に登録し、同年8月よりJ Aグループ施設及び営農施設の高圧電力の供給を開始しました。

全農長野県本部は長野県J Aグループ高圧施設及び高圧営農施設のコスト削減を目的に

平成29年4月より県内高圧施設5施設を全農エネルギー（株）の電力に切替えを行いました。

切替えを行った施設はL Pガス充填所や自動車整備工場、牧場などがあります。コスト削減状況に濃淡はありますが、前年から1割程度コスト削減が図られた施設もありました。

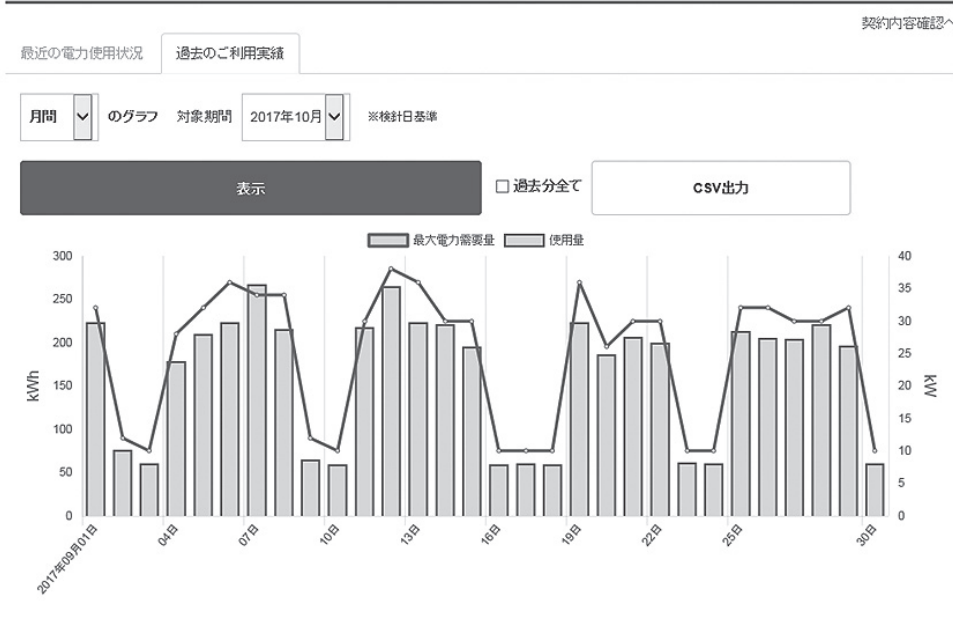
また平成29年9月より需要家向けのポータルサイトも開設され、各月の電気使用明細表の閲覧や日次の電力使用量もリアルタイムに閲覧できるなど、エネルギーの「見える化」の取り組みも進めています。

今後は県内J Aグループ高圧施設及び高圧営農施設の電力供給先を拡大し、コスト削減を図るとともに、低圧営農施設や組合員家庭用電力供給に向けた整備を進め、石油・L Pガスを含めたトータルエネルギーコストの削減提案を行っていきたいと考えております。



長野県JAグループの
ホームエネルギー事業ロゴマーク

電力使用量グラフ



需要家向けポータルサイトの電力使用量グラフ



中期事業計画（平成28～30年度）

自己改革の 進捗状況について

全農長野県本部は、J Aおよび子会社とともに、J A自己改革の進展を加速化させ、農業所得の増大と地域の活性化に取り組んでいます。

I. 【自己改革における最重点施策】 平成29年9月末時点での総括

その1 営農支援体制の充実《担い手に対する出向く体制強化および労働力確保》

- (1) 出向く体制強化は全J Aと協議をすすめ、県域からのフォローを求めているJ Aとは具体的アプローチ方を検討します。J A営農農政担当部課長会議等において営農指導の質的強化や担い手ニーズを反映した営農指導体制づくりについて協議を行いました。労働力確保については、「長野県」として特区申請中であり、国の審査結果により今後の対応を進めます。
- (2) J Aと一体となった提案型推進により、特に価格メリット効果の高い水稻超大型規格農業では大幅な利用拡大（計画面積比310％）となりました。下期に向けて、農家戸別銘柄「B Bわたしの肥料」や肥料・農業の県本部拠点直行配送の利用提案等をすすめ、担い手ニーズへの対応の幅を更に拡大していきます。
- (3) 畜産・酪農では、空舎を利用した生産1農場の稼働と更に1農場を準備中であり、県本部生産農場での素畜供給拡充、J Aと一体となった営農指導の強化等と併せ、生産基盤の維持確保に取り組んでいます。

その2 農業所得の増大《J A・県域による販売力強化とコスト削減》

- (1) 農業所得増大に向け、徹底した計画生産の取組実施、多様な生産者ニーズに対しての各品目における販売企画提案を進めています。また、積極的な消費宣伝活動を通じ、長野県産農畜産物のブランド強化を進めています。
- (2) 生産資材は、コスト低減や販売力強化に資する付加価値の向上等、農家・J Aのニーズに応える製品開発・普及提案を進めています。農業機械では、県域推奨型トラクターの重点購買により計画数量比150％の需要結果とメリット価格供給を実施するとともに、低コスト利用形態としての県域レンタル事業の普及・推進に取り組んでいます。
- (3) 政府の「活力創造プラン」への対応も含めた自己改革の更なる強化策を策定しました。30年度事業計画に反映することとしていますが、成果の早期実現に向け、既に先行して取り組みに着手しています。

その3 ライフラインの充実《地域の生活基盤整備》

- (1) 地域のライフラインを維持するために、SSについては、J A別SSマスタープランの見直し、実践を進め、収支改善に取り組んでいます。また次期J A別生活拠点計画に基づき、現行物流体制の改善、見直しと配送拠点の効率化を進めています。
- (2) 宅配事業は、利用者アンケート結果に基づくメニューの改善により利用者の満足度向上を進めるとともに、利用者拡大キャンペーンの実施により事業量の維持と事業収支の改善に取り組んでいます。

Ⅱ. 各事業別 平成29年9月末進捗状況

「J A長野県営農センター」

1. 中心的担い手の育成・支援

実行具体策	29年度計画	9月末進捗状況	達成度合いと今後の進め方
(1) J Aと県域の出向く体制整備	全J A	協議中	J Aにより担い手対応の体制や考え方に違いがあるため、今後J A別に協議する。
(2) 労働力確保情報交換会等の開催	4回	0回	県域として国へ特区申請中。国の審査結果により対応を検討する。

2. 営農指導体制の強化

(1) 担い手アンケートにもとづく指導体制強化	9 J A	2 J A	本年度は、3 J Aについて改善計画策定を進める。
(2) 品目別ボトムアップ研修会開催	花き研修	未実施	下期で4回実施する。
(3) 指導者会議 ブロック別検討会開催	20回	26回	積極的な取り組みにより計画達成した。

3. 栽培技術等によるコスト削減推進

(1) リンゴM9台木の取木繁殖 技術定着推進と、ウィルスフリー化台木生産	40千本	生産管理中	11月の堀上げを目指して良質な苗木の生産を行う。
(2) 業務用多収穫省力化 技術研修会開催 ①供給先別果樹多収穫技術研修会 ②業務用野菜栽培技術研修会	①2回 ②3回	①1回 ②2回	①りんご高密植わい化栽培研究会の開催（5／18～19） ②キャベツ機械収穫一貫体系の実践検証。

4. 安全・安心な信州農作物の生産・供給

(1) 残留農薬自主検査の実施	1,700検体	1,407検体	計画どおり検査を進める。
(2) トレース産地条件の整備と推進	調査・検討	調査の実施	トレースフォワードの調査・検討を進める。

【生産販売部】			
実行具体策		29年度計画	9月末進捗状況
1. 生産基盤の維持・拡大			
(1)多収穫・省力栽培による規模拡大 ①コグクの生産拡大 ②加工業務用野菜の拡大推進	①246万本 ②キャベツ1,200t	①186万本 ②キャベツ800t	①大幅な生育遅れにより計画未達。生産体系見直しと生産振興を継続的に進める。 ②11月末最終見通しは1,100t。機械収穫試験を実施した。次年度に向け単収向上対策（排水対策など）を検討する。
(2)計画・適正生産の推進 ①リンゴ早生種（長果25等）早期産地化 ②夏ハクサイの適正生産 ③レタス生産力維持	①新規1万本 ②220万ケース ③1,300万ケース	①1万本 ②252万ケース ③1,263万ケース	①出荷販売先を整理する。 ②作期の後スレと前進により集中し計画超過。数量抑制の啓発と作物転換を進める。 ③秋作の作柄安定対策と売り先の確保を進める。
2. 集出荷対策の向上			
(1)多様な生産者（大規模農家・法人・系統外含む）への販売企画提案	果実／新規2件 野菜／新規2件 花き／新規2件 きのこ／新規2件	法人リスト作成	果実／新規グループへの接触提案中であり、苗木供給から販売まで直結した企画提案型を推進する。 野菜／業務用キャベツ推進し、新規1件80a生産開始した。省力化を目的とした業務用きゅうりの取り組み生産者が拡大できた（H28／6名→H29／45名）。 花き／アルストロメリアで2件新規開始。きのこ／えのき・シメジのカット商品の取組2件開始。さらに新規商談継続中。
3. 商品提供力の強化			
(1)多様な販売手法への取組 ①リンゴ長期貯蔵販売の拡大	①15,000コンテナ	①準備中	長期保存に向けた1・MCP処理ならびに冷蔵庫への順次入庫を進める。
(2)加工・業務需要、輸出事業への対応強化 ①リンゴ輸出専用栽培の推進	①検討	①試験中	県と連携し、防除体系整理と普及前検討を行う。
(3)総合品目宣伝による認知度向上	実施	実施	□□および資材を統一した。実施イベントの効果について、次年度に向け整理を行う。
4. J A・県本部一体となった長野米集荷推進の実施と販売力強化			
(1)集荷重量	77,000t	72,120t	概算金単価アップ、集荷奨励等を通じて、出荷契約数量を上回る集荷を推進する。

【畜産酪農部】			
実行具体策		29年度計画	9月末進捗状況
1. 生産基盤の維持確保			
(1)空舎利用による生産農場の稼働	2農場	1農場稼働	残り1農場についてはJ Aと連携し準備を進めている。
(2)生乳出荷量の確保	100,000t	47,253t	性別別精液の活用促進により後継牛確保を推進する。
2. 信州産ブランドの確立			
(1)信州プレミアム牛肉の販売促進	2,300頭	1,052頭	空舎利用および集荷強化による頭数確保に努める。
(2)特色ある「信州産」牛乳・乳製品の商品開発・販売	企画・実施	おもてなしヨーグルト販売	11月信州の畜産酪農キャンペーン、12月農協牛乳キャンペーンを実施する。
3. 飼料用米の流通体制の確立			
(1)流通数量	1,500t	1,200tで完了	飼料用米生産の取り組み低調。次年度に向け、推進方策を検討する。
4. 地域畜産酪農営農センターの設置			
(1)進捗状況	2箇所検討	2箇所検討	J A毎に課題の抽出、実施方策を協議する。
5. 県本部生産農場の素畜供給機能拡充			
(1)素牛販売頭数（二岳牧場）	70頭	23頭	優良血統繁殖牛の県内保留も進める。
(2)素子豚供給頭数（SDF豚繁殖センター）	21,800頭	9,998頭	子豚事故の減少と農場事故後の母豚数回復に努める。
(3)初妊牛上場頭数（八ヶ岳牧場）	20頭	2頭	10月市場5頭、12月、2月市場での上場では計画数量達成見込みである。

【生産購買部】			
実行具体策		29年度計画	9月末進捗状況
1. 販売と連携した包材の開発普及			
(1)段ボール原紙アイテムの集約（累計アイテム数）	累計6アイテム	5アイテム	12月から更に1アイテム集約に向けて提案している。
(2)流通から小売までの潜在的なニーズを捉えた包装資材の開発	累計5 J A	4 J Aで採用	採用された形態を他 J Aにも提案し、他の形態についての提案も継続する。
2. 肥料農薬の担い手推進			
(1)「わたしの肥料」の拡大	2,600t	25t	本格受注は下半期。担い手推進の主要なツールとして J Aと一体的に活動する。
(2) B B肥料工場・農家直行方式の拡大（単肥との積み合わせ配送）	2,300t	1,215t	現状は B B肥料が大半だが、単肥との積み合わせも推進する。
(3)担い手向け超大型規格農薬のメーカー・農家間直送の提案推進	水稻剤450ha 茎葉除草剤800L	水稻剤1,394ha 茎葉除草剤800L	水稻剤は商品ラインナップを拡充、 J Aと連携した担い手農家への提案推進を行い、計画を大幅に上回った。（実績は29年産）
3. 農機コスト低減の取り組み			
(1)トラクター等の県域推奨型式設定による取扱重点化	累計3型式	累1型式	トラクター20PSを設定し29年度供給開始。9月末で45台供給。県域推奨型式研究委員会で、新たに2型式（トラクター125PS、畦草刈機）の追加設定を検討中。
(2)中古農機の流通促進、レンタルの事業化	中古成約20台 県域実施4 J A	中古成約16台 県域実施2 J A	J A M ネット2 n d 中古成約16台（9月末）。不用農機査定・買取等の業務体系の構築を進める。県域レンタル事業はトラクター、キャベツ収穫機を取得し貸出を実施。生産性向上と規模拡大に寄与する機種の取得と貸出推進に取り組む。

【生活部】			
実行具体策		29年度計画	9月末進捗状況
1. 石油取扱数量の確保			
取扱数量	308,100kℓ	133,904kℓ	下期は農業生産用燃料支援と、灯油需要期に対応した引取対策の実施等で計画達成を図る。今後、配送会員獲得推進を強化する。
2. ガス取扱数量の確保			
取扱数量	18,700t	8,367t	供給戸数減少の中、保安指導と器具推進により実績維持を図る。今後、料金透明化など外部環境変化に対応した取り組みを進める。
3. 自動車取扱台数の確保			
取扱台数	2,700台	1,192台	営農車取扱に関する協議を深め、上期台数を確保した。今後、更に営農車のあり方を検討し、系統自動車事業の維持を図る。
4. S S協同経営販売数量の確保			
販売数量	93,000kℓ	47,236kℓ	統一・独自供給促進に取り組み燃料販売強化に努めた。今後も拡販施策の取組強化による推進を行う。
5. 宅配おまかせ会員戸数の維持			
会員戸数	7,350戸	6,908戸	利用者は高齢化に伴い減少傾向であるが、 J Aと連携し推進課題の解決に取り組み、収支改善と戸数確保を行う。
6. 家庭薬配置戸数の確保			
配置戸数	93,000戸	89,334戸	配置戸数は高齢化に伴い減少傾向であるが、健康増進事業として P R し、配置体制の確保と J A と協力連携した推進を行う。
7. セレモニー県域施行件数の確保			
施行件数	3,500件	1,818件	急激に増加する小規模葬・直葬への早急な対応を図る一方、セレモニー会員獲得に向けた新たなメニュー創出を検討する。



ご利用者様と操作説明をする馬場センター長（JAグリーン長野川中島センター）



（左から）ご利用者様、馬場センター長、井出農業機械整備センター長（全農長野）

県域農機レンタル事業 トラクター貸出レポート

県域農機レンタル事業は、全農長野県本部がレンタル機を取得してJAにレンタルし、JAは管内の利用者に再レンタルする方式で昨年度より取り組みを開始しました。農業機械課は、20馬力トラクター（2台）、キャベツ収穫機（1台）を現在取得しJAへの事業推進を図っています。

29年度は、複数のJAで農機レンタルの事業化が進められています。

そのなかで、9月にJAグリーン長野において組合員の方よりレンタルの申し込みをいただき、当県本部取得のトラクターをご利用いただきました。

今回、ご利用いただいた方は、菊の栽培をされており、規模拡大に向けて遊休地の圃場整備を行う目的でレンタル利用を選択いただきました。トラクターの運転は初めてのことでしたが、管轄JA農業機械センター長の丁寧な

操作説明と運転指導により、安全かつ快適に作業していただきました。

利用者様からは、「遊休地を整備するためにトラクターによる耕耘作業が必要でした。JAで農業機械レンタルを開始したことを知り早速電話しました。トラクターの運転は初めてでしたが、圃場まで届けてもらい丁寧に操作説明いただいたおかげで快適に作業できました。無事に予定していた圃場整

備が完了しました」と満足の声をいただきました。

農機レンタル取り組みJAからの申込みは随時受付しています。農業機械課は、生産性向上と規模拡大に寄与するレンタル機の取得をすめ、JAとともに農機コスト低減を図り営農を支援していきます。

松本山雅FCホームゲームで「JA全農長野デー」開催

全農長野県本部は9月24日（日）、松本山雅FCホームゲームで「JA全農長野デー」を開きました。

県産農畜産物を身近に感じてもらうと、スタジアム横のファンパークでは、2,000人が参加する「信州農畜産物スタンブラリー」を実施。参加者は「ぎのこと野菜テント」「牛乳テント」「お肉のテント」などを回り、各品目の試食をしながら「県



スタンブラリーを回り、最後にミツ山マークとクラブのロゴ入りオリジナル軍手が当たる抽選に挑戦

産の出荷量が全国一位のぎのこと野菜をひとつずつ答えてください」「全農長野がMVP賞の選手に提供している牛肉のブランド名は？」などのクイズに挑戦し、正解するまでスタンプがヒントを出すことで、農畜産物の学びにつながりました。スタジアム内では選手も参加してカーネーションのプチブーケを作る「プチブーケ作り教室」を開催し、出荷量全国一位の長野県産カーネーションをPRしました。

キックオフ前のピッチセレモニーでは全農長野運営委員会の雨宮勇会長が「全農長野はこれからもサポーターの皆様とともに、信州の農業と、地域の誇りである松本山雅を応援して参ります」と挨拶すると、サポーターから「全農長野」のコールが掛かり、由井和行運営委員のキックインセレモニーで試合が始まりました。

当県本部は2011シーズンからプラクティスウェアスポンサーを務めており、JA全農長野デーは7回目の開催となりました。この活動を、地域の皆様の産地理解やJA長野県組織への関心を持っていただくきっかけにしたい、と取り組んでいます。

県内大型ホテルで旬の果実をPR

全農長野県本部果実課は、JR東日本「信州デスティネーションキャンペーン」にあわせ、5つの長野県内リゾートホテルで4回にわたり旬の果実をPRしました。

実施したのは池の平ホテル（北佐久郡立科町）、ホテルタングラム斑尾（上水内郡信濃町）、ホテルグリーンプラザ白馬（北安曇郡小谷村）、ホテル滝の湯（茅野市北山立科）、ホテル翔峰（松本市里山辺）。各ホテルには、7月15日（土）～17日（月・祝）にブラム、8月10日（休）～12日（土）にブルーイン、8月25日（金）～27日（日）に川中島白桃、9月16日（土）～18日（月）にナガノパールを提供しました。各品目とも生食はもちろん、色が変わりやすいモモは、スूप・コンポート・ゼリーなど、ホテルで工夫をしたデザートに変身しました。

果実課では、県内のホテルと連携し、お客様がご自宅に戻ったあと、店頭で意識的に「長野県産」を選んでもらえる取り組みを進めます。



株式会社ジェイエイオート長野

【会社の設立とあゆみ】

昭和45年、農村における営農用軽トラック普及に伴う系統自動車事業の体制確立と外国製トラックターなど高機能農業機械の整備事業体制確立のため、「株式会社長野県くみあい機械化センター」として設立されました。自動車事業に集中し「株式会社長野県くみあい自動車センター」に改名、平成14年より現在の社名となっております。

系統自動車事業で長野県経済連の機能を補完する会社として活動してまいりましたが、全農全国本部の自動車事業撤退や買取購買車事業の業態変更などがあり、全農本部の自動車事業を移管、続いて北・中信6JAの自動車事業を統合し、現在に至っております。

【事業内容】

《販売事業》

JAマークの営農車を中心に国内のほぼ全メーカーの車を取扱い、中古車については豊富な在庫と店舗の充実を

図りホームページでも情報を発信するなど、JA組合員の皆さまの要望に添えられるよう取り組んでいます。購入時のJAローンや個人リース対応も万全です。

《整備事業》

7指定工場と2認証工場の体制で管内組合員のお車を預り、安全・安心な整備を行っています。本社工場は集中車検体制を整え、板金・塗装の需要にも対応しています。近年はハイブリッド、EVや運転補助装置が普及するなど自動車の技術革新が急速に進展しておりますが、整備士の技術向上と設備更新を図り対応しています。

《県域事業》

全農県本部自動車事業の事務を受託し、農家の必需品である営農車の共同仕入・供給事業、県内JA自動車事業の共同活動企画の立案・実践をしています。

【社長あいさつ】

弊社はJAグループ会社の一員として、組合員様の営農活動に欠かせない軽トラックから地域のお客様の足として重要な乗用車・商用車などの新車から中古車まで各種の自動車の販売と、車検整備・板金塗装等の自動車に関連した事業を行っております。

毎日使うお車のメンテナンス、また、何かあった時等にまずお声をかけて頂ける会社でありたいと考えております。そのためには、ご要望にお応えできるお車のご提案、ご購入頂いた後のメン



《最近のトピック》

○「2017AAAキャンペーン」実施中（11月末まで）！

期間中のみの特典がいっぱいです。軽トラックの荷台に装備する「LANPS（ランプス）」の取り扱いを始めました。

農作物（特に果実）運搬に、また、趣味の友としても便利なアイテムです。展示会等で現物をご覧ください。

【営業所のご案内】

- 本社（中央整備センター、板金塗装課）
- オートパルながの南バイパス店
- JAながのオートパル西山センター
- JAながのオートパル東部センター長沼営業所
- JAながのオートパル東部センター飯綱営業所
- JAながのオートパルすこうセンター
- JAながのオートパルちくまセンター
- JAながのオートパルちくまセンターちくま店
- JAグリーン長野オートパル篠ノ井センター
- JAあづみオートパル
- JA大北オートパル北部センター
- JA大北オートパル南部センター



「食べる牛乳セミナー」開催

全農長野県本部酪農課とJA長野中央会、東海酪連は8月31日(木)、安曇野スイス村ハイジの里で、「食べる牛乳セミナー」を開きました。講師にはフードコーディネーターの小山浩子先生を迎え、JAたすけあい組織活動会員・役員と介護事業所の訪問介護員(ホームヘルパー)など33名が参加しました。小山先生のデモンストレーションでは、牛乳・乳製品と信州の食材を利用した「ミルク酢豚汁」「さばのミルクみそ煮」「鮭のミルクちらし寿司」「ふわふわがんもどき」「ミルクコーヒードラ焼き」の5品が提案され、講演ではユーモアを交えながら身体と栄養のお話をしていただきました。

参加者からは、「提案メニューは意外な組み合わせでしたが、抵抗なく食べられて、栄養もしっかり摂ることができる」「組合員の健康の悩みを少しでも改善していくために、活かしたい」等、今後の活動に役立つセミナーとなりました。



11月の動き

総務広報課	11/11(土)	松本山雅FCアウェイゲーム・リンゴPRイベント レベルファイブスタジアム(福岡市)
	11/19(日)	松本山雅FCホームゲーム・きのこPRイベント アルウィン
生産販売企画課	11/10(金)・11(土)	農林水産祭 「実りのフェスティバル」 サンシャイン池袋
米穀課	実施中～12/31(日)	長野の新米食べてもらえようキャンペーン 詳細はホームページをご覧ください JA全農長野 新米キャンペーン 検索
きのこ課	実施中～11/30(木)	JA全農長野のJust Meat きのこプレゼントキャンペーン きのこのパッケージについている三ツ山マークを4枚集めて応募すると、抽選で信州アルプス牛・県産米「風さやか」などが当たります。 詳細はホームページをご覧ください JA全農長野 きのこキャンペーン 検索
畜産酪農部	11/1(水)～12/31(日)	信州の畜産酪農キャンペーン
酪農課	11/11(土)	「くらしと牛乳 うしさんありがとう」 絵のコンクール表彰式 JA長野県ビル

JA全農長野の事業現況

平成29年度9月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	8,438	103	107
果	実	15,784	92	89
野菜	花き	46,635	89	93
野菜種苗センター		135	105	100
きのこ		6,931	89	92
営業		7,171	91	95
生産販売部計		85,093	91	93
包装資材		4,635	101	94
生産資材		5,485	103	98
農業機械		4,482	107	105
施設住宅		2,456	117	70
生産購買部計		17,059	105	93
畜産		6,683	109	98
三岳牧場		164	117	116
SPF繁殖センター		133	94	97
酪農		10,019	108	98
ハケ岳牧場		161	97	101
畜産酪農部計		17,159	108	98
燃料・ホームエネルギー		10,746	112	109
S S 協同経営		5,205	120	113
生活		6,401	104	98
生活部計		22,352	111	107
長野県本部計		141,664	97	96

(内部販売高含む)

11月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
11/2(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	エリンギ
11/7(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	11/3開催 伊那酪農祭の様子
11/9(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	えのきたけ
11/14(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	絵のコンクール表彰式
11/16(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	サンふじ
11/21(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食レシピ紹介
11/23(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	なめこ
11/28(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
11/30(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	未定
11/6・13・20・27(月)	FM長野	JA全農長野「発見!ながののゲンキ!みらいのミカタ」	ぶなしめじ

編集後記

連休に家族で稲刈りをしました。家族の都合が合わず延び延びでしたがようやく実施です。前の日は凄いい雨だったのですが、当日はすっきり晴れて秋晴れになりました。ただ気温も28℃くらいあってとにかく暑い。先日までそんなに寒かったのに・・・。

うちの場合は、半分以上「はぜ掛け」でやっているの、けっこうな作業量があります。

そこへ暑さも加わって本当に疲れました。でも、とりあえず終わってよかった。

それになぜか、子供も手伝ってくれました。めずらしく。素直にうれしかったです。普段は全く無関心なのに今回は頑張ってくれました??

：後でしっかり、おこずかいをとられてしまいました・・・やっぱりね。

(K)

果実課からのお知らせ

長野県産「シャインマスカット」ピューレ使用! ぷっちょシャインマスカット 発売中

UHA味覚糖より、JA全農長野が原料を供給する「ぷっちょシャインマスカット」が発売中です。

シャインマスカットのジューシーで上品な甘みと高貴な香りが楽しめる「ぷっちょ」です。

パッケージには、「信州力」が載っています。

- 商品名.....ぷっちょシャインマスカットスティック
- 内容量.....10粒
- 希望小売価格.....オープン価格
- 販売エリア.....全国のスーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、その他小売店
- 発売時期.....8月30日～来年3月頃まで



「ぷっちょ」のウェブサイトもご覧ください

ぷっちょ シャインマスカット 検索

畜産酪農部からのお知らせ

A・コープで信州の畜産品を買って当てよう! 信州の畜産酪農キャンペーン

長野県内のA・コープで、信州産の「豚肉」「牛肉」「たまご」「牛乳」「乳製品」「肉加工品」5点以上を購入したことがわかるレシートを一口としてご応募いただくと、抽選で信州アルプス牛、信州ポークなどが当たります。

- 応募方法.....A・コープ各店舗に設置してある応募用紙に必要事項を記入し、レシートとともに封書でご応募ください。(応募用紙を封筒としてお使いいただけます)
- プレゼント賞品.....A賞/信州アルプス牛肩ロース焼肉用 30名様
B賞/信州ポーク豚ロースしゃぶしゃぶ用 30名様
C賞/乳製品デザートセット 40名様
D賞/JAまごころ商品券1,000円分 50名様
- キャンペーン期間.....11月1日(水)～12月31日(日) 当日消印有効



長野の新米を 食べよう!!



今年も
美味しく
できました

長野の

新米

長野米
エール!

食べて

もら エールキャンペーン

開催中!

応募期間

平成29年12月31日(日)まで

「長野の新米」対象商品に付いている応募券を**2枚**集めて
 応募すると、抽選でステキな賞品をプレゼント!!

< A賞



オリジナルQUOカード
10,000円分

< B賞



信州アルプス牛500g

< C賞



BALMUDA 蒸気炊飯器

ダブルチャンス!!

A賞～C賞ご応募の中から
抽選で当たる!



全国共通おこめ券1枚
(1kg相当分)



ながの★ゲンキ
みらい★ミカタ
JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
 インターネット産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

